

トラブルの無いデータ公開と  
利用のために気をつけたいこと

国立科学博物館 動物研究部

GBIF日本ノード

神保 宇嗣

# 大澤さんのお話

- 地図をつかうのは「ややこしい」
  - Google mapはどういうケースに使えるのか？
  - 著作権？
- そんなに「ややこしくなく」使える地図もあるらしい
  - OpenStreetMap? 地理院地図?

地図に限った話では無い！

- 写真・イラスト・文章…
- 標本データは？

# 標本データの公開と利用

- 公開方法
  - 出版物：論文・報告書・書籍
  - ネット：ウェブページ・データベース
- 利用方法
  - 標本調査や現地調査の参考にする
  - 報告書や書籍等で引用する
  - 解析に用いて結果を公表する  
(自然史分野に限定されない)
  - その他すぐには思いつかないようなこと

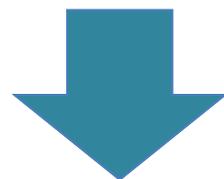
# 標本データ利用のトラブル

- 貴重種あるいは金銭的価値のある種の違法採取
- データ所有者に何らかの損害を与える
  - データを改ざんして公開
- データを勝手に利用する
  - データを抜き取って勝手に公開
  - データの出所を明記せずに利用
  - データ所有者の許可無く利用

# 標本データ利用のトラブル

- 貴重種あるいは金銭的価値のある種の違法採取
- データ所有者に何らかの損害を与える
  - データを改ざんして公開
- データを勝手に利用する
  - データを抜き取って勝手に公開
  - データの出所を明記せずに利用
  - データ所有者の許可無く利用

- 貴重種あるいは金銭的価値のある種の違法採取



公開前のチェックとデータの  
マスクが重要

# レッドリストチェッカー

昆虫

## RDB Checker! (ver.3.0)

国版・地方版のRDB掲載種の自動判定ツール-昆虫版

**このツールの使い方の説明 (サンプルデータで試してみてください)**

**1** 調べたい生き物の名前等を入力 …★1  
RDB指定状況を調べたいデータを、[A18] (18行目のセルA) から貼り付けます。標本番号は必須、標準和名か学名は必ず記入ください。[指定の都道府県でチェック] 時には都道府県を必ず記入ください。

**2** 入力した列記号を指定 …★2  
貼り付けたデータ内容を参照して、以下の「列記号の指定」表に指定された項目の位置(列記号)を指定ください。[指定の都道府県でチェック] 時には都道府県の列記号を必ず指定ください。RDBに指定されていない場合の表記文字も指定できます。

**3** チェックボタンで検索 …★3  
[指定の都道府県でチェック] or [全都道府県でチェック] ボタンを押します。RDB指定状況がデータ末尾に付加されます。

**【このツールについて】**  
このツールは、国立科学博物館サイエンスミュージアムネットにおける自然史標本情報整備に活用するために、国立科学博物館とNPO法人西日本自然史系博物館ネットワークが共同開発したものです。無償利用を前提としておりますが、許可なく再配布することを禁じます。また、ハッキングによるオリジナルデータの抜き取りと再利用を禁じます。

※任意の種をチェック候補に追加したい場合には、シート「rdb\_go」の末尾に種名、ランク等を追加ください。

★2 **列記号の指定**

G	デ	ー	タ	最	終	列
G	都	道	府	県	類	半角英字A~IV・指定の都道府県でチェック時必須
	大	分	類			半角英字A~IV・別類同名種がある場合指定
C	標	準	和	名	名	半角英字A~IV・指定の都道府県でチェック時いずれか一方必須/全都道府県でチェック時標準和名のみ必須
	学					

★2 **RDB該当なし時の表記文字**

例: 「-」 「該当なし」

nd

★3 **指定の都道府県  
でチェック**

**全都道府県  
でチェック  
(和名のみ)**

【環境設定】  
クロステーブルの再構築

↑リストを改訂した際にインデックス更新します(通常は使わない)

★1 **以下のデータはサンプルです。削除してからお使いください。**

標本番号	大分類	標準和名	学名	採集者	採集日	都道府県
ID	類	標準和名	学名			都道府県
1		アカオビカツオブシムシ				北海道
2		アカオビケラトリバチ				富山県
3		アカオビケラトリ				石川
4		アカグロコメツキ				愛知
5		アカネキスジトラカミキリ				福岡県
6		アカヘリミドリタマムシ				長崎
7		アキオサムシ				青森県
8		アサカミキリ				山梨
9		アサヒナルリナガタマムシ				埼玉県

# 標本データ利用のトラブル

- 貴重種あるいは金銭的価値のある種の違法採取
- データ所有者に何らかの損害を与える
  - データを改ざんして公開
- データを勝手に利用する
  - データを抜き取って勝手に公開
  - データの出所を明記せずに利用
  - データ所有者の許可無く利用

# トラブルを避けるには？

利用規約

ルールを決めて明文化

データ公開者—利用者間の契約

→トラブル対処の根拠となり得る

# サイエンスミュージアムネット



サイエンス ミュージアム ネット



自然史標本情報検索

[→ ENGLISH](#)      [→ 詳細ページへ](#)

全国の自然史系博物館が所有する、生物多様性に関する標本情報を検索することができます

キーワード

検索



研究員・学芸員検索

[→ 詳細ページへ](#)

全国の博物館等に所属する、研究員や学芸員を検索することができます

キーワード

検索



世界の生物多様性に関する自然史標本情報を検索することができます

[→ 詳細ページへ](#)



[→ GBIF日本ポータルサイト](#)

[▶ このサイトについて](#)

[▶ 協力博物館・科学館・大学一覧](#)

# S-Netの利用規程

(規程の遵守)

第3条 本サービスを利用する者（以下「利用者」という）は、以下の規程を遵守するものとし、利用者は、この規程の内容を受諾したものとみなす。

(利用規程)

第4条

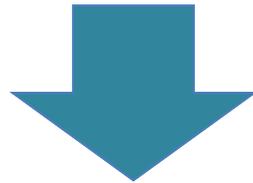
- (1) 本サービスのデータは登録なしに無償で閲覧できる。
- (2) 本サービスにおけるデータを論文・報告書などに利用する場合は推奨される引用方法に配慮して適切に引用する。
- (3) データは利用者の責任において利用し、データの正確性についてデータ提供者および国立科学博物館は責任を負わない。また、データベースの利用に伴う直接的・間接的な損害に対して、データ提供者・国立科学博物館は責任を負わない。
- (4) 利用者は、本サービスにより得たデータを改ざんしてはならない。
- (5) その他不適切なことを行ってはならない。

# データの著作権は？

- 事実(ファクト)データ
  - 観測値のように創作性の無い単純な情報
- 事実データには著作権による保護が及ばない
- データベースは保護される場合がある
  - ヨーロッパの「データベース権」

# データを公開する目的は？

データを使ってもらいたいから



データの利用をできるだけ妨げない  
ルール作りが必要

# データの「使いにくさ」とは？

見るのはOK  
使った結果を再配布するのはOK？

- 許可を必要とする
  - 許可を依頼する方もされる方も一手間かかる
- 用途を限定する
  - 研究用途に限る・非商用に限る
  - 想定外の使い方は？

色々なところで公開されているデータを  
まとめて使いたい。どうする？

- それぞれの利用規約を確認
- 連絡先を確認してそれぞれ許可をとる

別々の申請書が必要  
連絡先情報が古くて連絡が取れない  
担当者が交代し状況がわかって  
もらえない

# ルールを緩和する

- 条件を満たせば、許可無くデータを使っていいことを意思表示する  
→許可に関する時間や手間の節約
- 標準的なルールに従う  
→利用者が規約を読んで理解する手間の節約

そのような解の一つ  
＝クリエイティブ・コモンズ・ライセンス

# クリエイティブ・コモンズ・ライセンス Creative Commons License (CC)

「インターネット時代のための  
新しい著作権ルール」

- 著作者が「自由に使って良い条件」を  
意思表示するための手段
- 「条件」を類型・アイコン化
- 著作権の放棄では無い



<http://creativecommons.org/about/downloads>  
(Creative Commons Japan)

# CCに関連した概念

- パブリックドメイン
  - 著作権による保護が消滅した著作物  
(日本国内で没後50年経過したもの等)
- CC0
  - 著作物の作者・所有者が、著作権による利益を放棄することを表明する手段





表示

作品のクレジットを表示すること



非営利

営利目的での利用をしないこと



改変禁止

元の作品を改変しないこと



継承

元の作品と同じ組み合わせのCCライセンスで公開すること



表示 (CC BY)

原作者のクレジット(氏名・タイトルなど)の表示が条件



表示-非営利 (CC BY-NC)

原作者をクレジット表示し非営利なことが条件



全ての権利の主張



いくつかの権利の主張



全ての権利の放棄

<https://creativecommons.jp/licenses/>  
(Creative Commons Japan)

# OpenStreetMapのライセンス

本サイトのコンテンツは、クリエイティブコモンズライセンスにしたがって提供されます。(CC-BY-SA 3.0) 地図の(画像・タイトル)データは、クリエイティブコモンズライセンス CC-BY-SA 2.0で提供されます。

本サイトへの投稿、記事の提供、ブログの投稿にあたっては、著作者が特段の指定をしない場合は、CC-BY-SA 3.0ライセンスにしたがって配布することを承諾したものとします。

OpenStreetMapの地理データは、Open Database License(ODbL)で提供されます。ライセンスの詳細は、<http://www.openstreetmap.org/copyright/en> で提供されます。

[https://openstreetmap.jp/terms\\_and\\_privacy](https://openstreetmap.jp/terms_and_privacy)

# CCが提供するもの



## コモンズ証

誰にでも分かる著作権表示



だから、  
法律家じゃなくても  
コンテンツの利用条件  
が一目で分かる！



## ライセンス

現行の著作権法のもとで許諾内容  
を法的に担保するライセンス条項



だから、  
いざとなった時にも  
安心！



## メタデータ

RDF構文にもとづいた  
メタデータ体系



だから、  
ネットやP2Pなどでの  
高速な検索 / 共有 / 管理  
が簡単！

<https://creativecommons.jp/licenses/>  
(Creative Commons Japan)



表示 4.0 国際 (CC BY 4.0)

これは人が読んでわかりやすいようにしたライセンスの要約です。(ライセンスの代わりになるものではありません。)

免責条項



### あなたは以下の条件に従う限り、自由に：

**共有** — どのようなメディアやフォーマットでも資料を複製したり、再配布できます。

**翻案** — 資料をリミックスしたり、改変したり、別の作品のベースにしたりできます

営利目的も含め、どのような目的でも。

あなたがライセンスの条件に従っている限り、許諾者がこれらの自由を取り消すことはできません。

### あなたの従うべき条件は以下の通りです。



**表示** — あなたは 適切なクレジットを表示し、ライセンスへのリンクを提供し、変更があったらその旨を示さなければなりません。あなたはこれらを合理的などのような方法で行っても構いませんが、許諾者があなたやあなたの利用行為を支持していると示唆するような方法は除きます。

<http://creativecommons.org/licenses/by/4.0/deed.ja>  
(Creative Commons Japan)

# CCの意思表示と検索

- CCの利用を意思表示するには？
  - CCの利用を規約で明記
  - CCのアイコンなど決められた表記法
  - 画像共有サービス等でのオプション (Flickr等)
- ライセンスに合致した画像検索も可能





Find content you can share, use and remix

Enter your search query

I want something that I can...  use for *commercial purposes*;  
 *modify, adapt, or build upon*.

Search using:

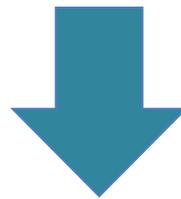
<b>Europeana</b> Media	<b>Flickr</b> Image		<b>Google</b> Web
<b>Google Images</b> Image	<b>Jamendo</b> Music	<b>Open Clip Art Library</b> Image	<b>SpinXpress</b> Media
<b>Wikimedia Commons</b> Media	<b>YouTube</b> Video	<b>Pixabay</b> Image	<b>ccMixer</b> Music
<b>SoundCloud</b> Music			

<https://search.creativecommons.org/>  
(by Creative Commons Foundation)

# CCを利用するメリット

- 許可が不要になる＝時間や手間の節約
- 共通のルールになる
  - － 利用者が規約を読んで理解する手間の節約
  - － 非専門家の提供者が規約を作る手間の節約
    - 内容を法的に担保するリーガルコードの提供
  - － 自由に使える画像を探す手間の節約

データを積極的に誰でも自由に使える  
ライセンスで公開していこう！



「オープンデータ」活動

# オープンデータとは

- 「誰でも自由に使える」形で情報を公開しよう  
という考え方
  - 商用・非商用を問わない
  - 用途を問わない

# オープンアクセスとオープンデータ

誰でも自由に見ることはできるが…

- オープンデータとしてのオープンアクセス
  - 商用も含め自由に再利用可能
- 一般的な論文などのオープンアクセス
  - 再利用禁止

# オープンデータとCCライセンス

- クリエイティブ・コモンズ・ライセンスは利用条件としてしばしば採用

例) 政府標準利用規約(第2.0版)

CC BY 4.0との互換があることを明記

※地理院地図

# 主なオープンデータ活動

- オープンガバメント
  - 公的データ(政府・自治体など)
- オープンサイエンス
  - 科学的データ(研究など)
- オープンGLAM  
(Gallery, Library, Archive, Museum)
  - 文化的データ(美術館・博物館など)

# 日本政府のオープンガバメント事業

The image shows the homepage of the DATA GO.JP website. At the top, there is a dark blue header with the logo 'DATA GO.JP' and the text 'データカタログサイト'. Below the header is a navigation bar with links for '新着情報', '利用規約', 'データ', 'オープンデータの取組', 'コミュニケーション', '開発者向け情報', and '統計情報'. A search bar is located below the navigation bar with the placeholder text 'データセットを検索...'. A message in the center of the page reads: '意見受付コーナーにて、オープンデータの掲載に関する御要望等を受け付けております（匿名可）'. Below this message are three main content blocks: 'データ' (Data), 'オープンデータの取組（リンク集）' (Open Data Initiatives (Link Collection)), and 'コミュニケーション' (Communication). Each block contains icons and text describing its content.

**DATA GO.JP** データカタログサイト

新着情報 利用規約 データ オープンデータの取組 コミュニケーション 開発者向け情報 統計情報

データセットを検索...

[意見受付コーナー](#)にて、オープンデータの掲載に関する御要望等を受け付けております（匿名可）

**データ**

HTML jpg PDF XLSX CSV XML

データセット 組織 グループ タグ

**オープンデータの取組（リンク集）**

OPENDATA LINKS

オープンデータに関する方針・決定  
公共データ活用事例一覧  
データベースサイト一覧

**コミュニケーション**

意見受付コーナー 意見・回答公開コーナー  
掲載データ利用の御連絡

<http://www.data.go.jp/>

# 世界の塩基配列データベース (INSID)

「INSID は、公開データにその利用を制限するような記述ならびに、このデータを利用した出版物を禁止するような制限事項は付記しない。特に、公開されたいかなる配列データにも利用制限や利用許可取得義務を設けず、公開データの二次公開や公開データベースの利用についても利用制限や利用許可取得義務を課さない。」

DDBJウェブサイトより引用

<http://www.ddbj.nig.ac.jp/copyright-j.html>



### Follow OpenGLAM



### Join our Network

Mail batched in a  No  Yes daily digest?



**OpenGLAM is supported by a global network of people and organisations who are working to open up content and data held by GLAM institutions.**

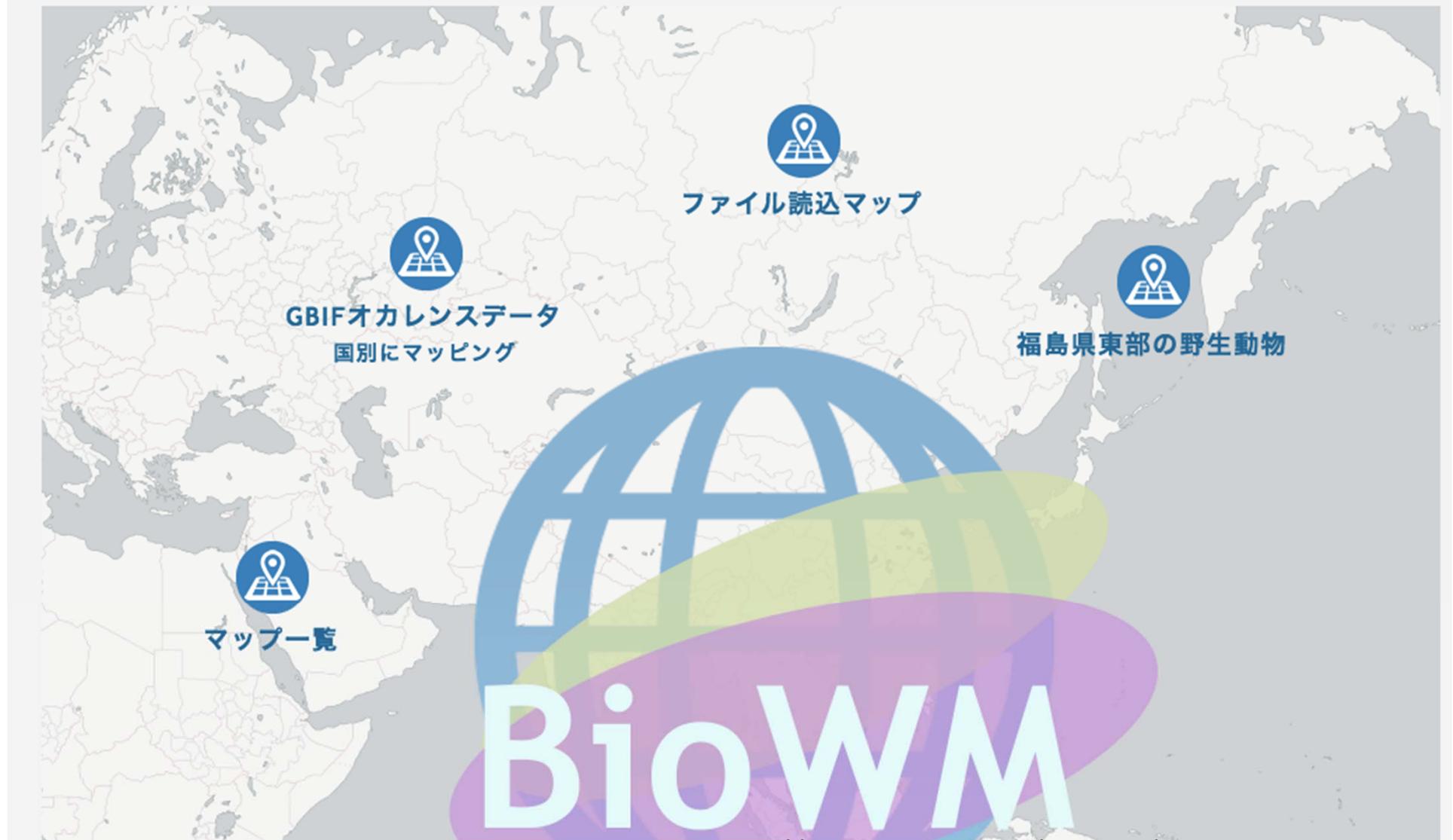


<http://openglam.org/>

# 日本発の生物多様性 オープンデータは？

- 政府のオープンガバメント活動の一環
  - レッドリストなど (CC BY)
- 研究者の自主的なアクティビティ
  - Green List (CC0)
  - 大菌輪 (CC BY)
  - 日本産蝶類和名学名便覧 (CC BY)
- サイエンスミュージアムネット/GBIF
  - 公開データセット (CC0/ CC BY/ CC BY-NC)
  - Biodiversity Web Mapping System (CC BY)

# Biodiversity Web Mapping System



<http://www.nies.go.jp/biowm/index.php?lang=jp>  
(国立環境研究所)

# 標本データ利用のトラブル

- 貴重種あるいは金銭的価値のある種の違法採取→公開前に対策
- データ所有者に何らかの損害を与える
  - データを改ざんして公開→規約で禁止
- データを勝手に利用する
  - データを抜き取って勝手に公開
  - データの出所を明記せずに利用
  - データ所有者の許可無く利用
    - 出所を明記すれば許可なく利用可能に

# トラブルのないデータ公開と 利用のために

- 公開に問題があるものは公開しない
  - 希少種に関する詳細情報
  - 個人情報
- トラブル対処のためにルールを設ける
  - 利用規約
- 利用のハードルを下げる
  - 共通ルールとしての標準ライセンス
  - 可能であればオープンライセンスを検討

# トラブルのないデータ公開と 利用のために

- 利用する際には
  - データベースの利用規約を読みましょう
    - 著作権・ライセンスなどの知識
  - オープンデータの動きを意識しましょう
    - (可能であれば)成果物をオープンな形で公開する